

「矢口消防団消防操法大会」開催 ～「第4分団」が優勝～

6月23日(日)、キャノン(株)構内にて「矢口消防団消防操法大会」が開催されました。早朝は雨が強く、運営への影響が心配されましたが、開始時刻が迫るにつれ小雨となり問題なく開催されました。鈴木晶雅大田区長はじめ多くの来賓の方々や選手のご家族の方々が見守る中、競技が行われました。競技には7分団が出場し、各分団は男女問わず5名の隊員で構成され、各隊員にはそれぞれの任務が与えられていました。

競技内容は、消火栓から可搬ポンプにホースを接続し、可搬ポンプから63m離れた火点標的に放水し、さらにホースをつなげて20m先の第2の火点標的に放水するというものでした。各隊員には正規の消防署員が審査員として付き、迅速性・正確性を審査して採点していました。

各分団は、この大会に向けて訓練を重ねてきており、真剣に競技に取り組んでおりましたが、審査員の厳しい審査が行なわれ、分団は上位3位までが入賞、各任務での個人表彰もありました。分団部門では、矢口地区で活動する「第4分団」が初の優勝を果たしました。



競技中の様子



受賞時の様子

受賞おめでとうございます

警視庁生活安全部長
東京防犯協会連合会長(防犯功労)
個人 山本 幸男
青木 ノリ子

警視庁生活安全部長
東京防犯協会連合会長連盟賞(地域功労)
個人 西牟田 崇生

東京防犯協会連合会長賞(地域安全)
団体 今泉自治会
下丸子四丁目町会

東京防犯協会連合会長賞(防犯功労バッジ)
個人 岡崎 さちこ

警視庁池上警察署長・池上防犯協会長賞
個人 中村 トシ子
齋藤 保夫
吉田 久司

大田区交通安全功労者
団体 パークハウス多摩川自治会
多摩川ハイム自治会

今泉自治会防災訓練

「東日本大震災」から13年、年初には「能登半島地震」が発生し防災意識が高まる中、3月10日(日)に今泉自治会防災訓練を実施しました。今回は発災型と呼ばれる一時避難場所での訓練と全体での総合訓練の2段階で行いました。

一時避難場所では、①消火器による初期消火②応急手当③担架やリヤカーでの搬送訓練④スタンドパイプによる放水訓練などを行い、その後、本部とトランシーバーで連絡を取り、今泉児童公園に集合しました。

総合訓練では①煙体験②救出・救助③市民消火隊による放水訓練などを行いました。

矢口消防署、矢口消防団第4分団及び市民消火隊隊員の親切な指導のもと、参加者も熱心に訓練に取り組んでいました。

こうした訓練を経験しておくことは災害に直面した時に必ず役立つものと思われれます。



講話の様子



担架搬送訓練

ザ・リバープレイス自治会防災訓練

6月1日(土)、ザ・リバープレイス自治会では管理組合と合同で大田区防災危機管理課、東京消防庁矢口消防署のご協力をいただき、防災訓練を実施しました。

午前10時、全戸への災害発生の一斉放送とともに①担当者が手分けして全戸を訪ね、玄関ドアに無事を示す「白いマグネットプレート」が貼付されているか緊急チェック。貼付されていない場合はインターフォン等で居住者の安否を確認しました。②中庭では関東大震災の模擬地震を体験できる起震車、③火災発生を想定した煙体験、④AEDの使用と救急救命措置、そして⑤家庭用消火器で初期消火、最後に⑥建物に設置された消火栓から中庭へ放水を行い、訓練を終了しました。また保存食のクラッカーが参加者に配布されました。



起震車体験の様子



救急救命訓練の様子

大谷翔平選手からグローブ届く!



大谷翔平選手から寄贈されたグローブが3つずつ全国の各小学校に届きました。

← 矢口西小学校、多摩川小学校にも寄贈されたグローブ

(写真提供 下丸子四丁目町会 廣瀬会長)

道徳授業地区公開講座【5月11日(土)】

<矢口西小学校>

全クラスの道徳の授業と、保護者を対象とした講演会の2部構成となっていました。

道徳の学習では、学年に応じた題材が選ばれ、テーマに沿って子どもたちが一生懸命考え、友達と意見を交換していました。その後、学校のスクールカウンセラーである天野菜緒先生による「子どもの心を育てるかわり」をテーマとした講演会が体育館で行われ、用意した席が足りなくなるほど多くの保護者の方が参加されました。

天野先生は、困難に負けない耐性を子どもの心につけるには、家庭での「親子がぶつかり合うやり取り」を親がしっかりとやるのが大切だとお話しされ、家庭ですぐできる取組として、「宿題を親がしっかり見ること」と「学校のテスト結果を親に見せること」を紹介していました。

(副校長 藤本 一成)

<多摩川小学校>

今年度最初の学校公開ということで、張り切っている児童、緊張している児童など様々でした。緊張していたのは私たち教職員も同じだったかもしれません。日常とは少し異なる雰囲気でしたが、児童一人ひとりがおうちの方々に「よいところを見せよう」「見てもらおう」とするのは前向きでよいことだと思いつつ、私は一日を過ごしました。

道徳地区公開講座は、町田市教育委員の関根美咲さん、関根さんの娘でありリオデジャネイロオリンピック陸上競技の日本代表である関根花観さん親子に来校していただき、子どもの成長を願う親の立場から「子育て」についてお話をいただきました。「子ども自身に考えをもたせること」「子どもの様子を見守ることの大切さ」などを、花観さんとの貴重なエピソードを交えながら教えていただきました。

私は、日頃子どもと接する私たちに求められていることは似ているのではないかと感じました。この日に改めて学んだことを日々の生活の中で一つずつ実践して参りたいと思います。

(副校長 吉川 貴雄)



講演の様子

はなみずきの会 ～東京サーハウス自治会～

6月23日(日)、居住者の親睦を深めることを目的に、音楽イベント「はなみずきの会」を開催。会場は満席状態。ヴァイオリンの演奏に加え、ヴァイオリンの解体ショーや、演奏体験、即興で作る曲作り等を行い、世界初披露の「東京サーハウス2024の夏」が完成。今回の経験を活かし、次回イベントに向け、検討を進めます。



コンサートの様子

(石田 健)

介護予防講習会を開催

6月16日(日)、今泉自治会・いずみえん共催による恒例の「第7回介護予防講習会」がいずみえんにて開催されました。

内容は、いずみえん講師による「健康寿命とは」「認知症について」の講話があり、続いていずみえん指導員により「蒲田行進曲」に合わせた「いずみえん体操」で体をほぐし、地域包括支援センターやぐち 小野センター長の「健康寿命を伸ばすために必要なこと」と題した講話がありました。増加を続ける高齢者単身世帯には近所での見守りが大切です。

参加した53名の皆さんは熱心に聞き入っていました。



いずみえん体操



講演の様子

レトロも感じる子ども祭り ～下丸子四丁目町会～

5月25日(土)、諏訪神社にて「下丸子四丁目子ども祭り(旧太陽祭)」が行われ、多くの来場者で賑わいました。通りがかった人が会場を見て足を止めて参加するなど、来場者も次第に増えていきました。

昭和時代にタイムスリップしたような昔懐かしい縁日で、若い世代に町会活動参加へ興味を持ってもらう接点としての目的は十分に達成されたように感じられました。NPO法人一期JAM様による民族芸能が会場に華を添えました。



子ども祭りの様子

矢西徳持ビクトリー全国大会出場

地元矢口西小学校の生徒が中心の小学生ソフトボールチーム「矢西徳持ビクトリー」が3月30日(土)から4月1日(月)の日程で群馬県渋川市で開催された第17回全日本春季小学生男子ソフトボール大会に出場しました。

2月29日(木)に鈴木晶雅大田区長へ表敬訪問し、激励の言葉をいただきました。

残念ながら全国大会は2回戦、1点差で惜敗しましたが、4月に開催された都大会では14チームある中で優勝しました。(高山 雄一)



表敬訪問の様子

大田区民フラザが再開館しました

大ホール天井の耐震補強などによる大規模改修工事のため休館していましたが、工事が終了し7月1日より再開館しました。